地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

鹿児島県いちき串木野市

自治体の課題、現状

・地域展開を実施するにあたり、総合型地域コミュニティスポーツクラブのような受け皿となる団体がなく、市が運営主体となっている。

・持続可能な地域展開を行うための指導者の人材確保が大きな課題である。

・学校部活動における加入率は、52.8%で、今後、生徒数の減少により学校部活動が存続できるかが大きな課題である。

・部活動の顧問が専門的に指導している割合が約2割となっており、ほとんどの顧問にとって、部活動の指導は負担となっている。

・令和7年度は市内2校にモデル校を拡充して、休日部活動の地域展開を実施。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	5校	全生徒数	675人
域内の部活動数	23部	実施した地域クラブ数	13クラブ
全体の指導者数	31人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	いちき串木野市		
主な種目	バドミントン、弓道、軟式野球、バレーボール、バスケットボール他		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：6人/クラブ 2年：6人/クラブ 1年：6人/クラブ
参加会費	0円/月	主な活動場所	市来中学校、串木野中学校

取組の概要や成果

・地域部活動コーディネーターによる関係団体等との連絡体制整備に関する取組で、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われるよう努めた。

・地域部活動通信を3回発行し、各中学校、市HP等を通じて情報発信することで、地域移行に向けた取組の周知が図られた。

・市来中学校の4部、串木野中学校の9部の運動部活動において、休日の地域部活動を実施し、専門的な技術指導による生徒の意欲や技術の向上と顧問の負担軽減に繋がった。

・生徒・保護者・教職員・指導者に対する各種アンケートや、各保護者会役員へのヒアリング等により、各部の運営状況や地域展開、受益者負担等について意見・意向を把握することができた。

・市内スポーツ関係団体と連携し、活動への中学生の受入れについてヒアリングを行い、受入れ意向を確認できた団体をリスト化し、多様な活動機会の情報提供として、市内中学生に周知を図った。

運営体制図

